

基本施策 4-1 地域の特性を活かした農業・農村づくり

● 5年間で目指すべき姿

魅力ある農畜産物の生産と効率的な経営による継続的な農業環境づくり

■ 現状と課題

農業は食糧生産のほか国土や自然環境の保全、良好な景観形成など多面的な役割を担っています。しかしながら高齢化や後継者不足等により農業人口は減少しており、農業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このような中、消費者ニーズに対応した高品質な農畜産物の生産や後継者の育成が重要となっています。

また、農業生産基盤においては老朽化や機能低下が進み、適切な保全管理と計画的な更新が必要となっています。

■ 基本方針・指標

農業経営安定のため露地野菜や施設園芸作物※、畜産などの生産振興とブランド化や地域資源を活用した6次産業化を推進します。また、地域の担い手となる認定農業者、新規就農者への支援、さらに農地中間管理機構を活用し農地の集積・集約による収益性の高い経営体の育成を図ります。

食糧生産の基礎となる優良な農地を維持確保していくため、農業基盤の計画的な整備を推進します。また、多面的機能支払制度※を活用し、地域資源の適切な保全管理活動への支援を行います。

指標	指標の説明	現状値 (H27)	目標値 (H32)
地域の担い手となる認定農業者数	農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数	280人	310人
新規就農者数(年間)	独立・自営で新たに農業を開始した農業者数	8人	10人
担い手への農地集積率	市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合	40%	50%

一口メモ

※下野市の誇れる農産物とは

市内で生産される農産物の中には、全国や県内でも生産量がトップクラスのものが多いです。

- ・かんぴょう(全国1位:53%(H24・栃木県))
 - ・ほうれんそう、ごぼう、きゅうり、玉ねぎ、はくさい、かぼちゃ(県内1・2位(H18・農林水産統計))
- これら以外にも、いちご、とまと、なす、長ねぎなど生産量の多い農産物があります。

※多面的機能支払制度とは

農業を支える共用の設備である水路、農道、ため池及び法面などを維持管理するため、地域の共同作業を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進するものです。



■主な事業内容・担当課

施策 4-1-1 都市近郊型農業の推進

○6次産業化の推進 ○地産地消の推進 ○都市農村交流施設の整備 ○農畜産物のブランド化への支援 ○畜産業の振興	農政課	重点
---	-----	----

施策 4-1-2 農業経営の改善

○新規就農者への支援 ○地域の担い手となる認定農業者の育成支援 ○担い手への農地集積・集約 ○農業経営所得安定対策の推進 ○農業制度資金への利子補給	農政課	新規 重点
--	-----	----------

施策 4-1-3 農業生産基盤の整備

○農業農村基盤整備の推進 ○農業水利施設の保全 ○土地改良施設維持管理の適正化	農政課	新規
---	-----	----

施策 4-1-4 農村環境の保全

○環境保全型農業の推進 ○共同活動による地域資源の保全 ○遊休農地等の再生利用	農政課	新規
---	-----	----

■市民満足度

魅力ある農畜産物の生産と効率的な経営による継続的な農業環境づくりを推進し、現状の市民満足度から向上するように各施策・事業に取り組みます。

項目	過去 (H22)	現状値 (H26)	目標値 (H32)
農業の振興	★★★★☆☆	★★★★☆☆	★★★★☆☆

◇協働のまちづくりのための取組

生産者、消費者、JA、農業委員会、農業公社、農業再生協議会等と連携し、売れる農産物や農地集積等の情報収集と共有化を推進します。また、農業者や土地改良区、市内各地の農村環境保全会との連絡調整を密にします。

- 【主な取組】
- 地域ブランド支援事業
 - 地産地消推進事業
 - 多面的機能支払事業

基本施策 4-2 商工業による躍進するまちづくり

● 5年間で目指すべき姿

商工業の活性化による魅力ある地域づくり

■ 現状と課題

商店街は地域住民との交流や安全・安心対策など多方面への貢献が期待される一方で、人口減少や後継者不足などによる衰退が懸念されており、商業全体の活力が低下している状況の中、商店街の活性化によるまちづくりが課題となっています。

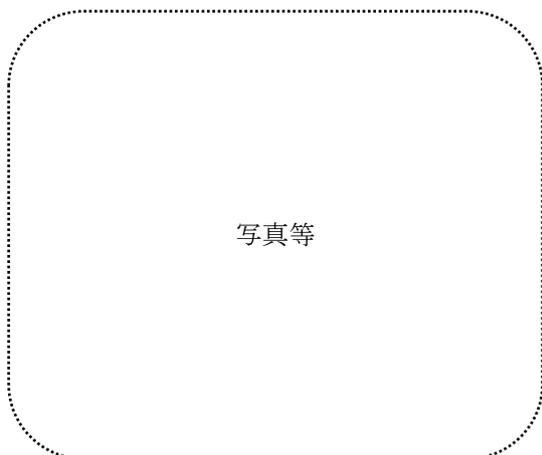
市内の工業団地は分譲が完了しており新規立地が難しい状況にありますが、既存企業の定着による雇用の安定化や地域の特性を活かした企業誘致による雇用創出など、商工業全体の活性化による地域経済の向上が喫緊の課題となっています。

■ 基本方針・指標

恵まれた自然環境や優れた立地条件等による商工業の活性化を推進するため、市民・事業者・商工会等が互いに連携を強化するとともに、既存商工業への支援策の拡充、新規開業に向けた優遇制度や新規立地に向けた産業用地の確保等を図ります。

また、制度融資などにより商工業の基盤強化を図りながら、自治医科大学等の地域資源を活用した医療・福祉・物流などの新たな産業の誘致※・育成、観光事業との連携による地域ブランドの創出等により、地元労働者をはじめとする雇用の安定と拡大を促進し、商工業の活性化によるまちづくりを推進します。

指標	指標の説明	現状値 (H27)	目標値 (H32)
制度融資新規活用件数	—	151 件 (H26)	200 件
創業資金活用件数	創業・女性起業家資金の延べ活用件数	11 件 (H26)	20 件
事業所数	工業統計事業所数	113 事業所 (H25)	120 事業所



-メモ-

※下野市が進める誘致産業とは
恵まれた自然環境や優れた立地条件、豊かな地域資源を活かした産業を誘致育成しています。

- ・自治医科大学などと連携可能な医療福祉産業
- ・新4号国道など交通アクセスを活かした物流関連産業
- ・地域の農業資源を活かした食品関連産業
- ・災害の少ない環境を活かした情報関連産業など

■主な事業内容・担当課

施策 4-2-1 商工業の基盤強化・活性化

○中小企業・小規模事業者の活性化 ○商店街にぎわいの再生 ○市内立地企業の振興	商工観光課	重点
---	-------	----

施策 4-2-2 新たな産業の誘致・育成

○企業誘致の推進 ○医療・福祉系産業の誘致・育成 ○田園都市の資源を利用した産業の育成・支援 ○地域ニーズに応えるコミュニティビジネス等の振興	商工観光課	新規重点
--	-------	------

施策 4-2-3 雇用・就業機会の拡充

○就業支援の充実・強化 ○人材の育成と確保 ○起業等による就業の支援	商工観光課	
--	-------	--

■市民満足度

商工業の活性化による魅力ある地域づくりを推進し、現状の市民満足度から向上するように各施策・事業に取り組みます。

項目	過去 (H22)	現状値 (H26)	目標値 (H32)
商業の振興	★☆☆☆☆	★★☆☆☆	★★★★☆
工業の振興	★★☆☆☆	★★☆☆☆	★★★★☆

◇協働のまちづくりのための取組

県、商工会及び各種産業支援団体と協働し、企業立地促進、既存事業者の連携を支援するとともに、イベント等において商工業者や立地企業の参加推進を図ります。

- 【主な取組】
- 産業祭
 - 立地企業交流会

基本施策 4-3 魅力あふれる観光まちづくり

● 5年間で目指すべき姿

多彩で魅力的な地域資源を活かした観光まちづくり

■ 現状と課題

本市には下野薬師寺跡や下野国分寺跡などの国指定史跡や姉妹都市であるドイツのディーツヘルツタールとの交流に起因したグリムの館、さらに広域交流拠点となる道の駅しもつけなど魅力的な地域資源が多数あります。これらの個々の魅力向上を推進するとともに、誘客を図るための積極的な情報発信や点在する地域資源の連携による新たな観光を創出する必要があります。

また、市民や関係団体と連携した、協働による観光振興が重要となっています。

■ 基本方針・指標

魅力ある観光の振興を図るため、道の駅しもつけをはじめとする年間 252 万人の観光客を観光資源の連携により市内へ誘客する新たな周遊ルートなど、観光の創出による地域ブランドづくりを推進します。また、多彩な観光資源と農業や商工業など他産業との連携による新たな観光事業を創出し、観光の魅力向上を推進します。

観光とまちづくりが融合した「観光まちづくり※」を展開し、来訪者へ提供する観光情報を市民へも提供し、市民が地域の魅力に気づき、誇りや生きがいにつながる地域づくりを推進します。

指標	指標の説明	現状値 (H27)	目標値 (H32)
下野ブランドの認定数	—	24 件 (H26)	44 件
観光入込客数	市内観光施設・イベントへの来訪者数 (観光庁の観光入込客統計)	252 万人 (H26)	280 万人

(参考：道の駅しもつけの観光入込客数は約222万人)



—ロメモ

※観光まちづくりとは
住民が自分たちの生活を楽しみ、来訪者との交流を通して、地域の持つ価値に気づき、地域をさらに活性化させることです。

■ 主な事業内容・担当課

施策 4-3-1 魅力的観光の推進

○観光プロモーションの推進 ○道の駅しもつけの活用 ○観光振興の推進 ○観光環境の整備	商工観光課	重点
--	-------	----

施策 4-3-2 観光資源の創出

○新たな観光資源の開拓 ○下野ブランドの拡充 ○広域観光の推進	商工観光課	
---------------------------------------	-------	--

■ 市民満足度

地域の魅力を活かしたブランドづくりや市民と来訪者の交流による地域の活性化を図り、現状の市民満足度から向上するように各施策・事業に取り組みます。

項目	過去 (H22)	現状値 (H26)	目標値 (H32)
観光の振興	★☆☆☆☆	★★☆☆☆	★★★★☆

◇ 協働のまちづくりのための取組

市民・事業者・市の各々がその役割を認識して相互に連携しながら観光の振興を推進します。

- 【主な取組】
- 観光協会助成事業（天平の花まつり・天平の芋煮会等）
 - 下野ブランドの認定

写真等

写真等